解説「防犯ゲート」

maroon

問題概要

- '(' ')' 'x' からなる文字列が与えられる
- 'x' を '(' または ')' に変更してできる文字列のう ち、次の条件を満たすものは何通りか?

• 条件:ある連続する区間の '(' と ')' を入れ替え たとき、文字列はvalidな括弧列である

- N <= 100
- 'x' の個数<=4
- 'x' を '(' か ')' に変えてできる文字列は高々 2^4 通り

• ある文字列が条件を満たすか O(N^3) くらいで 判定できれば良さそう

• 条件を満たすか否かの判定

• 反転する区間は O(N^2) 通り

• Validな括弧列であるかどうかはO(N)で判定できる

• O(N³) で出来て、4点

- N <= 100
- 'x' の個数<=12

• 'x' を '(' か ')' に変えてできる文字列は高々 2^12 通り

• ある文字列が条件を満たすか O(N^2) くらいで 判定できれば良さそう

- ある連続区間を反転した後、文字列は以下のようになっている (反転してない)(反転した)(反転してない)
- DP[i][j][k] = i文字目までを見たときに、かっこ列の高さがjで、i文字目が上の図でのk番目の位置にあることは可能か否か でDPすればいい
- 状態数O(N^2)、遷移O(1)、合計O(N^2)で出来て、12点

- N <= 100
- 'x' の個数<=20

• 'x' を '(' か ')' に変えてできる文字列は高々 2^20 通り

• ある文字列が条件を満たすか O(N) くらいで判 定できれば良さそう

・小課題2のDPをbitsetで高速化して30点

• 場合分けをする

① 何もしなくてもvalid

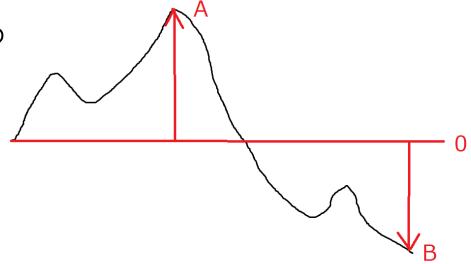
② 片側から見た時だけ invalid(括弧列の高さが途中で負になる)

• ③ どちら側から見ても invalid

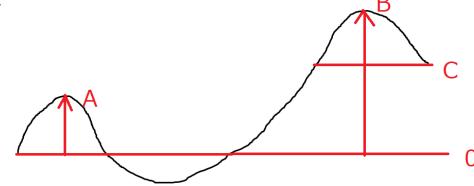
• ① 何もしなくてもvalid

• O(N)で普通にできる

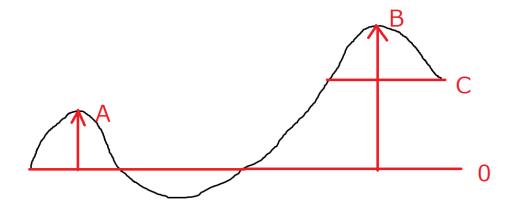
- ② 片側から見た時だけ invalid (一般化して、左から見たときにinvalidとする)
- 左から見て、高さが負にならないところまでの 最大の高さをA、終了地点の高さをBとする
- この時、高さAの地点 と、そこから右にある 中で最も近い高さ A+B/2の地点で反転 するのが最適な操作
- O(N)で出来る



- ③ どちら側から見ても invalid
- •終了地点の高さをC、左から見て高さが負になるまでの最大の高さをA、右から見たとき高さがC-1になるまでの最大の高さをBとする
- A+C/2<=Bの時、高さAの地点と、BもしくはBより左にある中で最も近い高さA+C/2の地点で反転するのが最適



- ③ どちら側から見ても invalid
- A+C/2>B のとき、先ほどと同様にできる
- O(N)で出来る

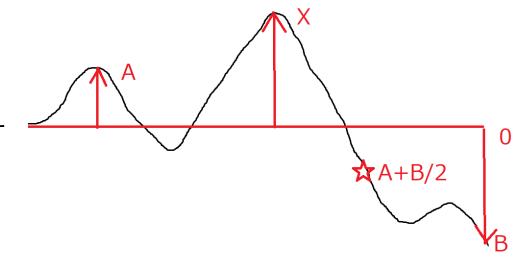


• 'x'の個数に関する制約がない

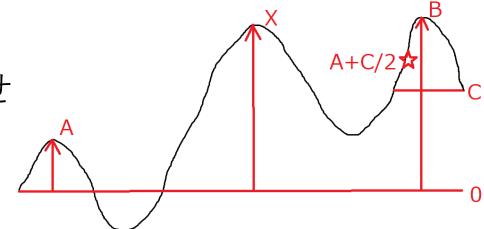
・小課題3と同じ場合分けをする

- ① 何もしなくてもvalid
- 適当にDPをするとO(N^2)

- ② 片側から見た時だけ invalid
- 反転する区間(Aの地点とA+B/2の地点の間)の高 さの最大値をXとしたとき、反転後の括弧列が valid⇔X<=2A
- A,Bを固定すると、 条件を満たすように 丁寧な遷移すれば O(N^2)のDPができる
- A,Bの組をすべて試せ ば、合計O(N^4)



- ③ どちら側から見ても invalid
- A+C/2<=Bの時を考える
- 反転する区間(Aの地点とA+B/2の地点の間)の高 さの最大値をXとしたとき、反転後の括弧列が valid⇔X<=2A
- AとCを固定すると、 O(N^2)でDPできる
- AとCの組をすべて試せ ば、合計O(N^4)

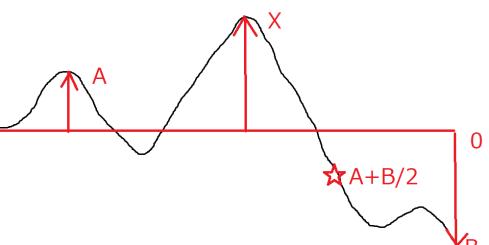


- ③ どちら側から見ても invalid
- A+C/2>Bの時を考える
- 先ほどと同様にO(N^4)で出来る
- ①、②、③全部合わせてもO(N^4)で73点

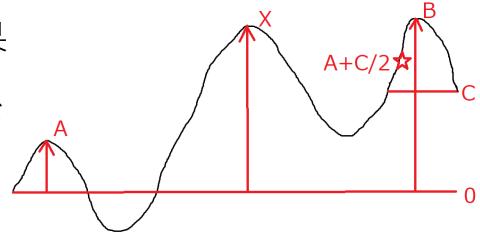
・小課題5のDPを早くする

- ① 何もしなくてもvalid
- そもそもO(N^2)なのでOK

- ② 片側から見た時だけ invalid
- A,Bを固定すると、高さがAになる地点より右で初めて高さがOになる地点、の左右の遷移は、 それぞれA,A-B/2にしか依存しない
- 左から進めたDPの結果と右から進めたDPの結果を使えば、A,Bの結果を使えば、A,Bを固定した際の答えがO(N)で求まり、合計O(N^3)で出来る



- ③ どちら側から見ても invalid
- A+C/2<=Bの時を考える
- A,Cを固定すると、終了地点ではない中で最も右にある高さCの地点、の左右の遷移は、それぞれA,B-Cにのみ依存している
- ②と同じように、左からと右からのDPの結果を持っておけば、A,Cを固定した際の答えがO(N)で求まる



- ③ どちら側から見ても invalid
- A+C/2>Bの時を考える
- 先ほどと同様にO(N^3)で出来る
- ①、②、③全部合わせてもO(N^3)で100点

得点分布